

授業科目

基礎作業学実習Ⅰ・Ⅱ（月曜3・4・5限）

【担当教員名】 富田 徹、長谷川 利子	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：GIO>

基礎作業学実習では、作業療法の治療手段として用いられる基本的な作業活動について、基礎的知識と基本技法を習得する。

人間が行うさまざまな作業活動は、感覚・知覚・運動機能、精神・心理機能、さらに社会的活動に影響を及ぼす。作業療法士は、ヒトの作業機能を理解し、それらの知識を医学的根拠として理解しながら臨床の場で活用し、治療的応用および個人の生活や社会活動へと結びつけることのできる能力を身につける必要がある。

<行動目標：SBO>

1. 各作業活動の工程を説明できる
2. 各作業活動に必要な用具（器具）・材料を列挙し、その特性や使用法を説明できる
3. 各作業活動の工程に必要な技法（技術）を体験する
4. 作業活動に必要な材料や道具を列挙できる
5. 材料・用具を手入れ・管理できる
6. 作業活動の全行程を経験し、作品を完成させる
7. 作業活動において必要となる感覚・知覚・運動機能、精神・心理機能について述べる事ができる
8. 作業活動において製作した作品を通して、人間が営む作業活動の社会的ならびに文化的な価値を理解することができる

日程	授業計画又は学習の主題			SBO
	A班	B班	C班	番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	オリエンテーション（全員）			1 富田：木工 長谷川：陶芸
1		木工（1）	—	8
2	陶芸（1）	木工（2）	—	
3	陶芸（2）	木工（3）	—	
4	陶芸（3）	木工（1）	—	
5	—	陶芸（2）	木工（2）	
6	—	陶芸（3）	木工（3）	
7	木工（1）	—	陶芸（1）	
8	木工（2）	—	陶芸（2）	
9	木工（3）	—	陶芸（3）	
10	講義（全員）			
11				

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	図画工作・美術用具用法事典	相田盛字二	日本文教出版	2001（第2版）¥3,204
参考書	作業—その治療的応用、日本作業療法士協会編集		協同医書出版	2003.5（改訂第2版）¥3,500
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席 30%、作品提出、40%、レポート40%	【履修上の留意点】 ・実習系授業であるため、遅刻することなく出席してください。 ・提出物は期限を守り、所定の場所へ提出して下さい。 ・作品完成のために、授業時間以外を利用して学習することがあります。
-----------------------------------	--

作業療法学科 専門